

2 食道 救①p82

喉と胃をつなぐ管です。長さは成人で約25cmで、気管の背側を下降し、横隔膜を貫通して胃につながります。正常状態でも食道の入り口、気管が左右に分かれる部分、横隔膜を貫通する場所の3か所が狭くなっており、食べ物が詰まるのはこのいずれかの場所となります(E05)。

食道壁は内側から粘膜、粘膜固有層、粘膜筋板、粘膜下層、固有筋層（輪走筋、縦走筋）、外膜からなります。筋層は内側が「輪状筋」、外側が「縦走筋」と呼ばれ、収縮の方向が異なる2つの筋肉が重なっています。これにより蠕動を起こし、食物を先に進めることができます（→小腸を参照）。

